

授業科目(ナンバリング)	政治学 (AD118)			担当教員	滝 知則		
展開方法	演習	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ ラーニング の 類 型
政治は私たちの日常生活から縁遠いことのように思われることがしばしばあるが、実は私たちに関係のあることだと気付く。そのうえで、政治のできごとを分析して説明できるようになる。							①⑥⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	政治の観点から、社会のさまざまな問題を考え、判断する力を身につけている。					受講者の発表 (グループプレゼンテーション)	10%
情報収集、分析力	現代日本の政治に関する基礎的知識を有し、自分の専門分野の学習に活用することができる。					授業への参加度 小テスト 定期試験	10% 15% 60%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	社会人として必要な政治に関する教養的知識を有し、実践することができる。					受講者の発表 (グループプレゼンテーション)	5%
多様性理解力							
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
授業への参加度（10％）は、予習・復習課題の提出状況から判断する（復習課題へのフィードバックを授業冒頭で行う）。授業全般の学習内容の理解度を小テスト（15％）で、学習内容をまとめることのできる度合いをグループプレゼンテーション（15％）で、それぞれ評価する。定期試験（60％）として筆記試験を行う。							
授 業 の 概 要							
第2回では、政治の目的が何であるか、政治を説明するための基本的な枠組みは何か（インプットとアウトプット、本人－代理人関係）を学ぶ。第3回から第8回では、現代日本の政治のしくみの基本（政党・選挙・国家・内閣・官僚制・地方－中央関係）を学ぶ。この基本的なしくみをより多くの国民の役に立つよう機能させるために知っておくべき視点について、第10回から第14回で学ぶ。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分である。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：指定しない。 参考書：山口二郎（2009）政治のしくみがわかる本。岩波ジュニア新書。 指定図書：参考書に同じ。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
1. 復習問題への解答ならびに予習を、毎回継続して行うこと。教科書の予習範囲は別記の通り。なお予習箇所を明示していない回と、参考書の参照箇所は、第1回の授業の際に指示する。 2. 履修登録の時点から、テレビや新聞の報道に注目してほしい（そして履修後も継続する）。政治全般でもよいが、自分の学科の学習に関連の深い事項に絞り込んでよい。誰が何をしたいと望んでいるか、その希望の実現のために誰（どの組織）が何をしているか、に注目すること。こうした学習が、グループプレゼンテーションに役立つ。 3. 授業中の私語は、厳に慎むこと。正当な理由のない遅刻、欠席、途中退室は認めない。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習・復 習
1	イントロダクション	この授業のねらい、テーマとスケジュールを確認する。 小テストとグループプレゼンテーションについて。	(予習) シラバスを読んでから授業に出席すること。
2	政治の目的	政治とは、誰が誰のために何をすることかを学ぶ。	(予習) 教科書 1 章・2 章、 予習確認問題 (復習) まとめ問題
3	基本的なしくみ (1) 政党と利益形成	政治の過程の中で政治家 (議員) の果たす役割は何か。	(予習) 教科書 4 章、予習 確認問題 (復習) まとめ問題
4	基本的なしくみ (2) 選挙	選挙をすることの意義は何か。	(予習) 教科書 4 章、予習 確認問題 (復習) まとめ問題
5	基本的なしくみ (3) 国会	国会の意義は何か。	(予習) 教科書 5 章、予習 確認問題 (復習) まとめ問題
6	基本的なしくみ (4) 内閣	首相と大臣の関係の特徴は何か。	(予習) 教科書 6 章、予習 確認問題 (復習) まとめ問題
7	基本的なしくみ (5) 官僚制	首相・大臣と官僚の関係の特徴は何か。	(予習) 教科書 6 章、予習 確認問題 (復習) まとめ問題
8	基本的なしくみ (6) 地方と中央	地方自治の意義、地方政治の特徴は何か。	(復習) ①まとめ問題、② 小テストに備え、第 8 回 までを復習する。
9	中間まとめ (小テスト)	①第 8 回までの学習内容の理解度を確認する。 ②グループプレゼンテーションの説明	(復習) 理解が不十分な回 があれば、第何回の授業か を確認し、復習する。
10	政治の「狭き門」を 通るには (1) 市民社会	第 13 回までは、国民の利益を実現するうえでの「十分 条件」を考える。国民、政府と市民社会の関係。	(予習) 教科書 7 章・8 章、 予習確認問題 (復習) まとめ問題
11	政治の「狭き門」を 通るには (2) マスメディア	政治とマスメディアの関係	(予習) 教科書 3 章、予習 確認問題 (復習) 同上
12	政治の「狭き門」を 通るには (3) ジェンダーの視点	社会における女性、男性の立場の違いと政治の関係	(予習) 配布資料を読む、 予習確認問題 (復習) 同上
13	政治の「狭き門」を 通るには (4) ネーション とナショナリズム	政治が利益を実現すべきステークホルダーは誰か	(予習) 配布資料を読む、 予習確認問題 (復習) 同上
14	グループプレゼンテーション	グループが選んだ政治のできごとの調査・分析結果を、 クラス全体に報告する。	(予習) プレゼンの練習 (復習) 自他のプレゼンの ふりかえりメモ
15	全体のまとめ	①学習内容のふりかえり。②わたしたちは政治にどう関 わるのが可能か。	(予習) 教科書 8 章、予習 確認問題
16	定期試験		